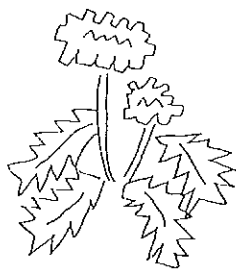


たんほほ

NO 1 1 0
H 8 年 8 月 1 日
一 発 行 一
〒 8 6 9 - 1 2
熊 本 県 菊 池 郡
大 津 町 森 5 4 - 2
社 会 福 祉 法 人
三 氣 の 会
三 氣 の 里
☎ 0 9 6 - 2 9 3 - 8 1 0 0



沖繩旅行

理事長 田中 稔

先日、2班の園生の沖繩旅行に一緒しました。なるべく邪魔しないように後ろからついて行きました。

熊本は梅雨の真っ只中、飛行機が飛んでくれるかどうか心配していたのに、梅雨の明けた沖繩はギンギラギンに晴れて日差しが肌に突き刺さるように感じられました。飛行機が初めての園生もいました。機内での混乱もなく、荷物を受け取って迎えるバスに乗り込みました。

所要所でトイレ、生理の処理等を入れながらゆったりとしたスケジュールが組んでありました。食事も個々の園生のペースに合わせて食べるまで待つ、バイキングの時もできるだけ好きなものを取らせるといったやり方でした。

沖繩の景観のポイントはなんと

いつでも本土では見られない海の青さでしょう。この海を見ながら一日目の宿泊のホテルを目指します。途中パイナップル畑を見て、缶づめがなっていないことを確認しました。こういう施設は試食があった、大抵そこがお土産屋さんになって、買い物に時間を過ごすようになっていきます。私たちの集団は食うだけ食ってあっとい間にソロソロ外に出て、店の人を呆れさせてしまいます。

ホテルはプール、自家用の海水浴場を持つ堂々と一流ホテルでした。翌日、日焼け日射病を心配しながら、園生も職員も海水浴を十分に楽しみました。それは那覇にもどって園生も自分のお土産を買いました。

最後の日の午前中、鍾乳洞や戦没者記念碑等を見て、午後の飛行機で帰って来ました。飛行機の着く前後だけポツカリと語られてくれ

ました。小さなハブニングもありました。間に合わないでタタミに便が出てしまいました。一人がシャワーに連れて行って一人がタタミを拭いて、用意していた消臭スプレーで臭いを消してしまいます。又、海辺でアツという間にスッポンポンになったのをアツという間に着せてしまいます。待合室で声を出したり、変わった行動をすることもあります。

こうした事を、たいした事じゃないと、てきばきと対処できる職員が育っているかどうか、この子たちが施設の中で受け入れられるかどうか、社会参加ができるかどうかの大切なポイントです。今回連れて行ってくれた職員は若い人達でしたがその力量を頼もしく思いました。

一のん気 - 二ん気 - げん気

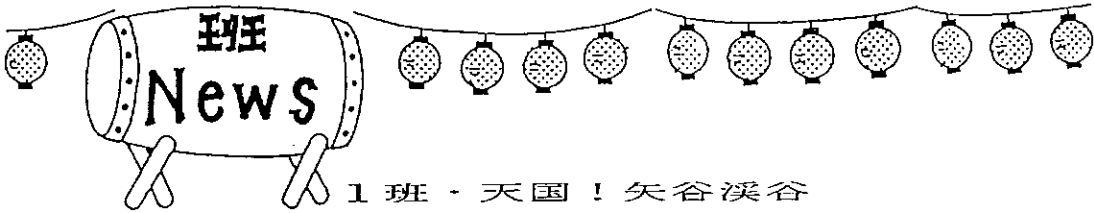
▽7月中旬、熊本の梅雨が明けると水銀中はうなぎのぼりで、連日の真夏日、熱帯夜に少々閉口している。先日まで梅雨の鬱陶しさ恨めしいと嘆いていたのに、何と勝手なものだ。

▽茹だる暑さはさておき、オリンピックイヤー今年の夏は、三気の里でもアトラクタ五輪の話題で持ち切りである。連日連夜各競技選手の活躍がマスコミで報じられる度に一喜一憂している。過熱気味の報道に少々寝不足である。

▽8月3日、夏季の掃宅訓練前夜、恒例の夏祭りが行われる。今回は屋外で保護者と一緒にはべキューをしようという計画している。現在、酷暑の中で各施設の整理や準備に追われている。

とくに除草作業は難関で、梅雨というエネルギーを蓄えて成長した雑草達の抵抗は厳しく、熱風を含んだ草いきれの中での作業は、遅々としてはかどらず掛け声のみが空回りしている。

さあ、今が頑張り時である。九月には、三気の里・三気の家合同大運動会も控えている。



1班 - 天国！矢谷溪谷

長雨の続いた梅雨がやっと明けたと思ったら、毎日がカンカン照り。まさに夏！暑いのはもうたくさん…と7月16日、涼を求めて出掛けた先は矢谷溪谷。なんと本当に涼しい。いつも暑い暑いと騒ぐ俊ちゃんや憲ちゃんさえ静かなもの。川の水もとても冷たく、足をつけるのさえ勇気が言ったが、若いしーちゃんはさっと水着になりザブンと肩まで入ってしまった。他も後に続くかと思ったら、不覚にも大岩から足を踏み外し、深みにはまってた私の悲鳴におののき、皆尻ごみしてしまった。そんなみんなのお目当ては、昼食のパーベキュー。お肉やウィンナーに注目していても、お皿にのって来るのは「野菜、野菜、肉。」バランスよく食べて、お腹いっぱいになったら、気持ちも大きくなったようで、「さぁ、写真を撮ろう」と水辺へ誘うと、なぜか皆、なんと恐がりの英くんまで靴を脱いで水辺に入って来た。全員が冷たい水に足を浸しての記念撮影ができ、内心ホッとした私であった。

その翌日、いつもの暑さに皆が元気をなくしてしまったのはいうまでもない……。 平川

2班A - 夏本番！

いよいよ梅雨が明けました。このごろではすっかり主役となった太陽がキラキラ照っています。そんな中、2班Aでは夏を待ちきれず一足先に四季の里の温泉&プールに出掛けました。プールでの過ごし方は一人ひとり様々でした。浮輪にのって流れるプールを何度も回っていた忠ちゃん、泡のプールにのんびりつかっていた宣陽さん、一句読んでいるかのようにしみじみ阿蘇の風景を眺めていた行夫さん、初めて平泳ぎ（手のみ）を披露し周囲を驚かせた幸恵ちゃん、るり子さんは素敵なお水着の水着でウォーキングプールで歩きダイエット？昭子ちゃんかわいいピンクの水着でプールサイドの花となっていました。始めは不安そうでも最後には大きいプールにずっとつかっていられた博美ちゃん、「プールにいきいたいな」と前々から楽しみにしていた晃子さんは大喜びでした。初めて2班Aでいったプールそれぞれの楽しみ方ができてよかったなと思います。プールの後は温泉に入って体を暖めました。今回、風邪で残念ながらお留守番だったミドリさん、今度は全員で海水浴にチャレンジしましょうね！ 吉田

2班B - 夏だ！海だ！沖縄だ！

去る6月25日、2班Bのメンバーは、うざったい梅雨真っ盛りの熊本を抜け出して一足早い夏を求め、2泊3日の沖縄の旅へ出掛けました。沖縄は初めてという人がほとんどの中、この旅行で最大の難関だったのが飛行機に乗る事でした。搭乗口で半べそかいて「お家帰る」と言い出した龍ちゃんは座席に座ろうとせず、飛行機初めての淳ちゃんとよっちゃんは、あまりの怖さにちょっぴり泣いていました。

ところで、沖縄はというと、とっても暑くて日差しがジリジリと強く、マリンスポーツの海で泳ぐには皆不釣り合いなほど日焼け止めをベタベタと塗って海水浴を楽しみました。その中で一番驚いたのは、今まで砂浜でしか遊べなかった文ちゃんが海に入ったこと。沖縄の熱帯魚にひかれたのかも…。

普段クーラーの生活に慣れきっていた皆には、外を歩く観光は暑く苦しいものがあったようですが、食事に関しては大満足だったようです。なぜならば、毎日が焼き肉にステーキ料理だったから。「また、お肉～」と言うのは職員だけで、皆は黙々と食べ続けていました。

あ～あ、バカンスは終わってしまった。後は楽しい旅行の余韻で夏をのりきろう！ 佐藤

4班 - 暑〜い夏がやって来たゾ〜！

暑〜い夏がやって来ました。今年も又昨年同様、炎天下が続きそうな気配です。梅雨時の雨ばかりの天気も困りますが、風も吹かない、陰もできないような天気も、外で作業をする農耕班にとっては厳しいものがあります。

6月の下旬、梅雨で雨ばかり続いて外での作業ができなかった頃、「少しは晴れんと作業がすすまんねー。」と言った私に対し、「晴れん方がいい。」と返事した功一くんも、雨の降る朝、ニコニコして「今日、作業何する？」と聞きに来ていたのが快晴になると心なしか寂しそうな表情になり、か細い声で聞きに来る猛くんも、作業棟に移動する放送を入れると耳をふさぎ、聞こえないふりをする隆博くんも、いざ作業となると汗をグダグダと流しながらも黙々と本当に良く頑張ってくれます。

今では、作業を頑張った後、クーラーの効いた作業棟で冷た〜い麦茶を飲む事が一番の楽しみな様です。これから8月に入ると、まだまだ暑い日が多くなってきそうですが、適度な休憩と水分を補給しながら、のんびりと野菜作りに励みたいと思ってます。

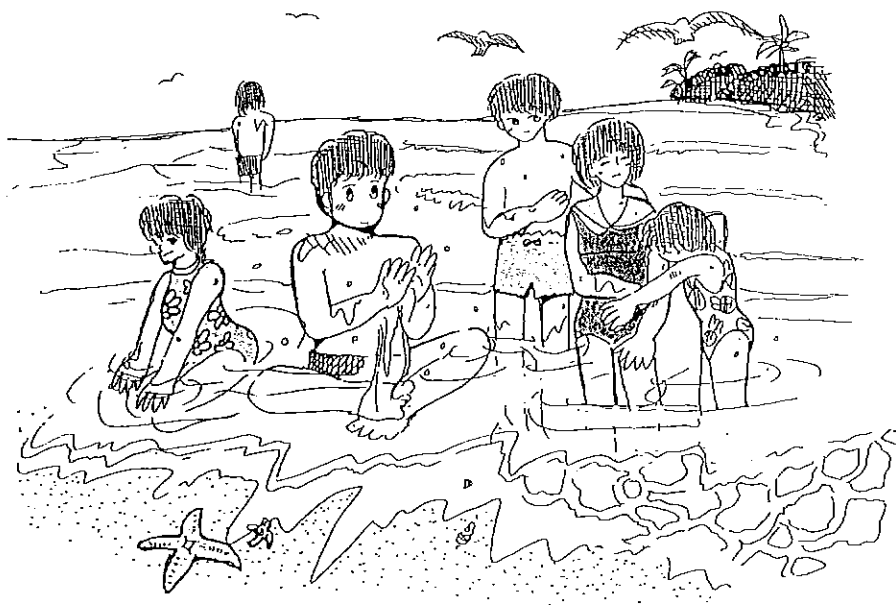
高田

5班 - 夏だね〜！

「みんな頑張れ〜」と職員の声がむんむんした湿度の中を飛び交う。7月だと言うのに、もう37度の最高気温を出していて、畑を覆い隠すような草を取るのに大忙しの日々です。麦わら帽子を被っていても蒸し暑さは変わらず、畑の中は40度はあるんじゃないかと思うほどですが、なぜかみんなは黙々と頑張っています。陽ちゃんは職員の真似をして「みんな頑張れ〜」と声援し、泰ちゃんは「ニヒヒッ」と笑いながら頑張って、典くんは「典くん頑張れ」と自分を励まし、その後に「コーヒー、ウーロン茶」と言って笑っています。みんなの頭にあるのは30日からの宿泊レクレーションだけのようで、休憩になると「おやつはもって行くと?」「〇〇はもって行くと?」と質問攻めです。今回のレクレーションは大分マリンカルチャーセンターで3班と合同レクです。大勢で行くのにぎやかになることでしょう。

さて、お気づきでしょうか?三氣の里の駐車場の花壇がマリーゴールドで埋まりました。来年の今ごろには上段、下段の花壇がマリーゴールドの花がびっしりになりますよ!楽しみです…私だけ?…

有働



3班 - Shape up の夏

雨・雨・雨ばかりの毎日から一転、ムシ暑い日が続いていますね。「暑い！暑い！」と言いながら首にタオルをかけ、1つしかない扇風機を皆で奪い合っていた昨年までの夏がウソみたいに今年の夏は「快適」です。作業棟にもクーラーが設置され、過ごしやすい温度での作業に励んでいます。（隣の木工室は天然の風のみで暑いですが…）。そんな木工班で今一番の人気物はエアロバイク（スポーツジム等に置いてある自転車こぎの機械）。一人が始めると「次は僕！」と待ちきれずにやって来て、いつも誰かが乗っています。シェイプアップに励む人、作業中の気分転換にする人と、エアロバイクの活用法は様々ですが、この人気はこれからも続く事でしょう。「最近、やせてかっよかったね。」と思われる人は、きっと木工班のメンバーです。今度の大分旅行で、早速、ひきしまった身体を海辺で披露してくれるでしょう。

療育雑誌記

思い

指導員 田之上健一

「元気でね」「ちゃんとさよならせんね」「もっと淋しそうにしてよ」「こっち向いてよ」「はい握手」作業の手を休め、ぞろぞろとみんなが玄關の前に集まってくる。皆口々に言いたい事を言っている。先月の6月末の事である。

三気の里に入所して6年程になる男子園生が、この日退所する事となった。みんな別れを惜しむ気持ちからか、ついつい長いお別れタイムとなってしまう。

この男子園生との出会いは、6年前前宮崎県の児童施設から三気の里へ入所して来ました。当時まだ15歳で体も小さく、童顔、幼児体型のどこから見ても小学生位にしか見えなかった様に記憶している。この少年の初めての担当がこの年採用となった女性職員でした。この後3年間担当する事となるのですが、本人にとって初めてのケースで、試行錯誤しながら彼にトライしていたのを覚えています。

事は間違いない。決してお世辞にもとてもいい子ですと、言える相手でなかった事はその後担当を引き継いだ私自身も良く解る。いろいろな問題行動が出てくる度に、頭を抱え、どう対処しようか、などを考える事は当たり前で、どんな人になってもらいたいかと全体像を想像したりするのです。当然、周りの人達からも可愛がられる人になってもらいたいたいという想いがあつたのは、前担当の彼女も私自身も同じであつたろうと思います。少年から青年へ、三気の里での日々は、彼を体の成長だけでなく、心の成長も手助けできたのでしようか。それを確かめる事は難しいのですが、試行錯誤しながら全力で本人と向き合い、取り組んだ事は事実です。

指導員の想いですが、保護者の方の想いも非常に大切な事であるの言うまでもありません。三気の里に入所される時に指導員より、「どんな人になってもらいたいですか」と聞かれる事があります。それぞれに想いを述べられ、話し合ふのです。

今回の退所についても、多忙な中、地元でボランティア活動、福祉支援などの活動をされている御両親が、やはり本人が近くに居ないと強く望まれた結果であつたが、やはり本人に対しての強い想いからの出来事である。宮崎から毎回片道3時間以上の時間を掛けるの帰宅訓練は容易ではなかつたろうと思ひます。彼には兄弟がいまふす。まだ小さい人もいるのですが、御両親からすれば子供さんに分け隔てなく愛情を注がれていまふす。ある部分では、健常児の子供さんが犠牲になる所も多かつたと思ひます。御家族の協力あればこそです。ある時、お父さんが、「この子が居て良かった」としみじみ言われました。いろんな事があつたと思ひます。察するには奥が深いのですが、そんな想いを大切にしながら、我々指導員も関わっていきたくと思ひます。最後に、自分らしく生きて下さい。



第12回九州自閉症親の会研修

木下昭二

第12回自閉症親の会九州大会の福岡大会が去る6月22・23日の両日、「地域社会の中で」のテーマのもと、ホテル海の中道で開催され、私達三気の会も、施設職員という立場で参加させていただき

ました。梅雨の最中で天候も心配されましたが、自閉症児者に携わられる方々の日ごろの行いが良く2日間共快晴に恵まれてのスタートでした。まず1日目は午後より受け付けが行われ、夕方は交流会で各県の活動報告書や保護者の方々とお話しをさせていただいたりしました。

2日目は大会関係者の方々のごあいさつのおと「人間の可能性」と題して、日本自閉症協会会長の江草先生が、又午後からは「障害者の新しい生き方を求めて」の内容を、おがた小児科医院院長の緒方先生の講演をお聞きしました。お二人の先生方とも解かりやすく、時には説得力ある口調でお話になり、聞き手として時間の経過を忘れてしまう程聞き入っていました。最後に大会決議が読み上げられ2年後の次回開催である宮崎

県親の会の吉田会長より次期開催についての抱負と案内があり、閉会しました。参加者の方々、大会関係者の皆様お疲れ様でした。

九州施設職員研修

石丸直美



7月4・5日に宮崎で九州地区施設職員研修が行われ自閉症をテーマとした分科会で強度行動障害者の処遇事例の発表者として参加させて頂きました。私の言いたかった事は現状をしっかりと見極め、先を見通し、細かな課題、目標を一つ一つ乗り越えていく事が必要だとする事なのですが、グループ討議に参加していて、自閉症と言う障害、その中でもパニックと対応に戸惑い、パニックと言う大きな壁を乗り越えきれずに、目の前の問題行動にとらわれ過ぎている施設職員も多いように感じられました。

私もこの仕事について三年がたちましたが、よく泣きましたし、悔しくて唇をかみしめてきました。未だに、怖くて頭が真っ白になる事もあります。しかしそれ以上に、

この仕事に面白さも見出してきました。研修を終えた今になって「どうにかするしかない」「がんばるしかない」と叱咤するだけではなくもっと「指導の面白み」を話してやるべきだったかなと反省しています。

最後に、自分の思い、やって来た事を文章にする難しさ、まして決まった字数、30分と言う時間の人に伝える難しさを学び先輩方々も随分引きずり込んだ研修でした。持つべきものは先輩！かな…？

食堂生営白業中



毎回、お手伝いをしてくれる園生を紹介してまずけど、今回はルリ子さんです。

日曜日の昼食が終わって、ルリさんは厨房に入って来て「ゴミ燃やしてきてあげるよ。私の仕事だけけん。」と言ってくれます。私達もついこの日になると、ルリさんが入ってくるのをあてにしてしまいます。ルリ子さん、またよろしくね。待ってまーす。村上

栄養のはなし

「トウモロコシ」

トウモロコシは食物繊維が豊富で、便秘を改善し、腸の掃除をしてくれます。また、食物繊維には糖やコレステロールの吸収を妨げる働きもあるため、高脂血症や肥満を防止します。ただし、ダイエツト食品や健康食品としてトウモロコシだけに頼るのは危険です。必須アミノ酸であるトリプトファンが欠乏し、皮膚炎や胃腸障害を起こします。そこで肉と一緒に食べると足りないアミノ酸を補うことが出来、トウモロコシに含まれるビタミンBが脂肪やタンパク質の代謝に役立つので一石二鳥です。

堀尾

さよなら

順ちゃん

先月の6月一杯で三気の里を去って行った順ちゃん、三気の里では6年程みんなと一緒に過ごしたけど、家庭の事情により仕方がないことでした。入所したころの幼い順ちゃんから青年の顔へと変身した青春の1ページを刻んだ三気の里の事、忘れないでこれからも頑張ってください。 田之上

8月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
				1	2 三気の家朝見キャンプ (~3)	3 夏祭り 夏祭り(~18)	
4	5 第6回実践キャンプ (~8日)	6	7 三気の家キャンプ (~8日)	8 時美ちゃんの誕生日(26)	9	10 兄子ちゃんの誕生日(28)	
11 一哉くんの誕生日(20)	12	13	14	15	16	17 藤土くん、幸恵ちゃんの 誕生日(22)	
18	19 秋祭	20	21	22 ふれあいキャンプ (~23)	23 たんぽぽ音楽日 山美ちゃんの誕生日(29)	24	
25	26	27 ♪1歳レク	28 ♪2歳レク	29 ♪2B歳レク	30	31 お祭り(仮)	

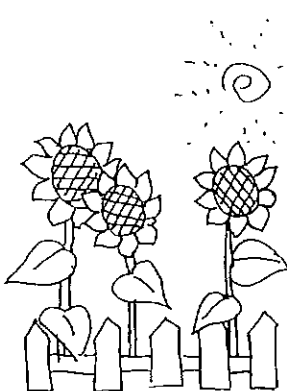
☆ 時美ちゃん、兄子ちゃん、一哉くん、藤土くん、幸恵ちゃん、山美ちゃんお誕生日おめでとう!
 ※ 2日(金)~3日(土)三気の家研修 日 31日(土)お祭り(仮)
 22日(木)~23日(金)ふれあいキャンプ

ラーメンピクニック

坂本 信子

七夕の日、県立劇場地下大会議室で行われた「ラーメンピクニック」に、三気の里ではミュージックケルの奏者として出演しました。柴田君、神沢さん、松村君、村上君、健二君、荒川さん、藤本さん、橋村君、松島さん、行武さん、西沢さん、岩永君、福永さん、福蔵さんの計14名で曲の都合上、今まで一番大人数の出演となりました。舞台での出演は、今度が初めて、と言う人も居ましたが、本当に良く頑張ってくれて練習のときよりも一段と上手に演奏してくれました。これからの成長が楽しみです。

最後になってしまいましたが、ラーメン党の皆さん、ありがとうございました。



ボランティア通信

ようやく梅雨が明け、本格的な夏を迎えています。太陽がサンサンと照らし汗ばむ日が続いていますが、この暑さの中皆様いかがお過ごしでしょうか？

来る8月3日(土)、午後5時より夏祭りを開催します。多数催し物を用意し、皆様のお越しをお待ちしています。お友達を誘って是非遊びに来て下さい。また、三気の里の皆と一緒に作業をしたい方、皆と一緒に働きたい方は、是非御来園下さい。詳しくはボランティア担当の石丸、満原、佐藤までご連絡ください。

- ☆ボランティアありがとう
- ☆ボランティア指導 森 隆子
- ☆ブラッシング指導 西村 栄子
- ☆生け花 松尾博美 清田純一
- ☆散髪 坂本シマコ 泉美智代

編集後記

今日も編集が進みません。おしゃべりが多いせいではありません。白熱するアトラントオリンピック!なぜか編集室にあるテレビに見入ってしまうのは、昨日の金メダルのせい。

古田